



ボランティア・NPO活動センター通信

No.43 発行日：2024年6月

教職員の皆さんにボランティア・NPO活動センターの活動を知っていただきたい！ ボランティア活動に参加していただきたいという思いを込めて、「ボランティア・NPO 活動センター通信」をお届けします。今回は令和6年1月1日に発生した能登半島地震の内容に特化して掲載しています。

能登半島地震から考えるボランティアと ボランティア・NPO 活動センターの役割

龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター長を務めます政策学部教員の石原凌河です。この挨拶文は私が引率した当センター主催の能登半島地震災害支援ボランティア活動の活動終了後の宿舎で執筆しています。



さて、能登半島地震の被災地では「静かすぎる被災地」と称されるように、震災によって支援が必要な方々が多数おられるにも関わらず、ボランティアが被災地にほとんど来ていない状況となっています。もちろん半島特有のアクセスの困難性などの課題はありますが、社会全体が他者に手を差し伸べることへの余裕が乏しくなっているのが主たる要因ではないでしょうか。このままでは次なる大災害が発生してもボランティアに頼ることは難しい時代が到来し、支援を必要とする人々が置き去りにされるのではないかと危惧しています。

そのような困難な時代の中でも一筋の光が差しています。それはボランティアに励む龍谷大学生の存在です。当センター主催の第1回能登半島地震災害支援ボランティア活動では募集開始から僅か2分で定員に達しました。第2回能登半島地震災害支援ボランティア活動では定員の2倍以上の応募がありました。災害支援のボランティア活動だけではなく、地域コミュニティの活性化、地域文化の継承、スポーツ、環境問題など多様なボランティア活動に龍谷大学生は積極的に参加してくれています。「他者に手を差し伸べる」学生の力が結集することで、やがては「まごころ」あるしやかな社会が形成されることは間違いないでしょう。

当センターは20年以上前から設立された他大学と比べても伝統のある大学ボランティアセンターです。これまでの実績を活かしながらも、龍谷大学基本構想400の将来ビジョンとして掲げている『「まごころ～Magokoro～」ある市民を育む』をリードできる組織となるように更なる魅力あるプログラム等を提供してまいります。そして、地域社会などの学外の方々から龍谷大学生にボランティアをお願いしてよかったと信頼されるようなセンターでありたいと考えています。

皆様からのご支援のほど何卒よろしく申し上げます。

ボランティア・NPO 活動センター長

石原 凌河

能登半島地震に関する取り組み

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震で被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。被災された地域への災害ボランティアなどの支援活動に参加したいと考えている学生や教職員の皆さんもおられるかと思います。発災以降、ボランティア・NPO活動センターでは、今回の地震災害に関連する取り組みを以下の通り行いました。

能登半島地震災害支援ボランティア

被災地での支援活動を行うため、センターでは4月と5月に計2回、総勢30名の学生と能登半島にボランティア活動に行きました。

第1回の活動では能登島での家財の運び出しの活動を、第2回の活動では珠洲市内で側溝掃除の活動を行いました。また両日程とも輪島市内の視察も行い、被害の大きさを実感しました。

各回活動後には報告会を実施し、参加がかなわなかった学生・教職員に活動を報告しました。

夏期休暇にも活動を予定しています。後期にその報告会を実施する予定ですので、ぜひご参加ください。



能登の活動やその他センターの活動についての詳細
はこちらからご覧ください！



HP



Facebook



X

災害ボランティア講座の開催

被災現場でのボランティア活動は心構えや準備・装備等で日常的なボランティアは異なる点があります。今回は1月に『災害ボランティア講座』を緊急的に開催しました。また災害ボランティアに関する質問に答える『アンサー会』も実施しました。6/19(水)にも『災害ボランティア入門講座』として、夏休みに活動に行く人向けに講座を実施予定です。教職員の方も参加可能ですのでぜひお越しください。

募金箱の設置や募金活動のサポート

能登での復興支援活動を行っている団体『BIG UP 石巻』への支援金を集めるため、センター内に1/10～2/2に募金箱を設置し、学内の皆さんから93,600円ご協力いただきました。また、有志学生から「募金活動をしたい」という相談があり、深草・瀬田両卒業式、入学式、新歓会場での募金活動を行いました。有志学生の募金活動の総額は213,869円となり、その総額を、中央共同募金会へ支援金・義捐金に分けて寄付しました。



教職員の皆様も社会貢献に参加しませんか？

ボランティア・NPO活動センターは、学生へのボランティアの啓発活動以外にも、教職員の皆様へのボランティア紹介をおこなっています。また、ボランティア保険の加入手続きも可能です。

ボランティアに興味・関心はあるけれどもはじめての一步を踏み出したことがない教職員の皆様も、ボランティアへの理解を深めてはいかがでしょうか。

なお本学には、ボランティア休暇制度も整っています。(年間5日を限度として、1日または半日単位で取得することが可能です(有給)。詳しくは『ボランティア休暇に関する要項』を参照してください。)

その他、ボランティアに関することは、深草(成就館1階)・瀬田(青志館横)に2名ずつ配置されているボランティアコーディネーターにお気軽にお問い合わせください。

ボランティア・NPO活動センター通信第43号 発行責任者:センター長 石原 凌河
ホームページ: <https://www.ryukoku.ac.jp/npo/> E-mail: ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp

深草:成就館1F(内線1490)
Tel:075-645-2047 Fax:075-645-2064

瀬田:青志館(生協食堂)横(内線7252)
Tel:077-544-7252 Fax:077-544-7261